

欧州特許庁、特許審査タイミングの自由度向上に関する
ユーザー・コンサルテーションの結果を公表

2019年3月13日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2019年3月5日付ニュースリリースにて、特許審査タイミングの自由度向上に関するユーザー・コンサルテーションの結果概要を公表した。

本ユーザー・コンサルテーションは、特許審査着手時期を延期することで特許審査タイミングの自由度を向上させるという施策の導入について、当該施策導入の必要性及び実現可能性に関するユーザーの意見を集めることを目的として、2018年11月19日から2019年1月11日までの間に行われたものである。

本ニュースリリース及び本ユーザー・コンサルテーションの結果概要によれば、本ユーザー・コンサルテーションには個人及びユーザー団体から627件の回答があり、特許審査タイミングの更なる自由度の必要性に関する質問への回答については、賛成と反対がほぼ二分される結果（賛成52%、反対46%、無回答2%）になった、とされている。

本ニュースリリースによれば、本ユーザー・コンサルテーションの結果は、慎重に分析されており、今後、特許審査タイミングの自由度向上を提供するためにとり得る方法をさらに検討する際に考慮される、とされている。

－ 欧州特許庁のニュースリリースは、以下参照 －

[Report on the results of the user consultation on increased flexibility in the timing of examination process now available online](#)

－ 本ユーザー・コンサルテーションの結果概要は、以下参照 －

[Summary of the results of the user consultation](#)

－ 特許審査タイミングの自由度向上に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、特許審査タイミングの自由度向上に関するユーザー・コンサルテーションを開始（2018年11月20日）（PDF）](#)

（以上）